

／ 除草効果の検証会を実施しました ／

畦畔は崩さず、効き目は長く！

「除草剤を使うと畦畔がもうくなる」「電気柵下の草刈りが大変」…。草刈り作業のこつした課題を解決するため、町では7月、除草検証会を実施しました。今回は、検証から得られた効果的な除草方法をご紹介します。



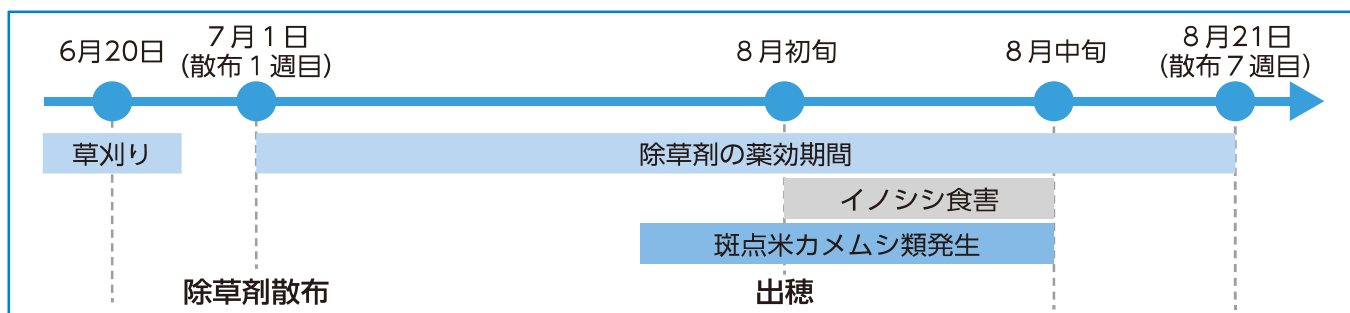
使用した2つの薬剤の特徴

除草剤（根を枯らさないタイプ）	抑草剤
・雑草に散布 ・散布した葉茎を枯らす（根まで枯らさない） ・水10 L に対して100mL	・土壌に散布 ・雑草の発芽を抑制 ・水10 L に対して25mL

検証では、根を枯らさないタイプの除草剤を使用しました。このタイプの除草剤は、畦畔が崩れにくいというメリットがある一方で、薬効期間が短いというデメリットがあります。そこで、**抑草剤を混ぜて散布**することで、雑草の生育を抑え、薬効期間を7週間以上持続させることに成功し、電気柵の適正な管理に役立ちました。

また、草が伸び始める7月初旬に散布したことで真夏の暑い時期の草刈りが省略でき、出穂前後のカメムシ対策にも役立ちました。

除草剤散布のスケジュール



除草剤と抑草剤を混合散布した畦畔の経過（1週間ごとに確認）



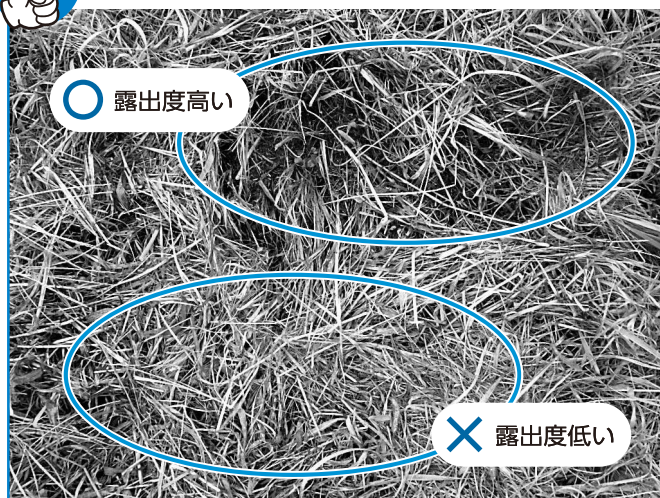
散布2週後（7月18日）

散布5週後（8月8日）

散布7週後（8月21日）

除草剤散布時のポイント

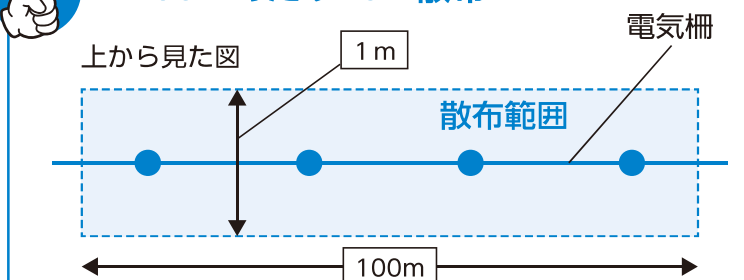
ポイント! 1 下草を刈り、地面を露出させる



ポイント! 2 作業の直前に混ぜる



ポイント! 3 100㎡あたり10 L 散布



地面に浸透させることが大切。霧なしノズルを使い、少し早歩きするくらいの散布量が理想的です。

薬剤の購入などに多面的機能支払交付金を活用することも可能です。

散布のポイントや、使用した薬剤などを知りたい場合は、農林水産課農林水産係までご連絡ください。

検証参加者の声

夏の一番暑い時期に行う除草作業がなくなるのは魅力的でした。

イボクサ対策にも繋がるので、来年も継続したいです。

散布前の除草をしっかりとできると効果が長持ちします。

除草がしにくい斜面などには積極的に活用したいと思います。



鳥獣被害のご相談はウェブからできます



連絡用
フォーム

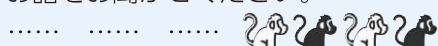


被害状況
確認フォーム



町では有害鳥獣対策に取り組む皆さんをサポートしていきます。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話を聞かせてください。



問 農林水産課農林水産係
TEL 0240 (34) 0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページ
でもご覧いただけます